

# 学級活動学習指導案

日 時 平成 21 年 6 月 5 日 (金) 第 2 校 時  
対 象 2 年 2 組 (男子 20 名・女子 20 名) 計 40 名  
指導者 教 諭 藤 田 裕 紀

## 1 テーマ 「球技大会を成功させよう」

## 2 学習指導要領との関連

活動内容 (1) 学級や学校の生活づくり

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

## 3 テーマ設定の理由

近年、都市化や核家族化が進み、家庭や地域社会において社会性を身に付ける機会が減少している。また、情報化の進展によって人と直接かかわり合う機会も減少し、望ましい人間関係を築く力なども身に付けにくくなっている。そのような状況において、学年や学級という集団の中で、話し合い活動や体験的な活動を通して、よりよい集団を創り上げるような特別活動の重要性は、より高まっている。中学生は、親の依存から離れ、自らの行動は自ら選択・決定したいという独立や自律への要求が高まる時期である。しかし、経験や知識が不足していたり、思考力や判断力が十分に備わっていなかったりするため、適切に対処することが困難な場面も少なくない。そのため、生徒が集団活動や体験的な活動を通して、集団の一員としての望ましい在り方を身に付け、活動のさらなる向上について主体的に考えていけるよう、教師が支援することが必要である。

球技大会への取組はユニット「友愛」の終末に当たり、1時間目に道徳を、2、3時間目に学級活動を行って球技大会に臨む。本時では、1時間目の道徳の時間において高めた信頼・友情を中心とする道徳的価値を大切に、球技大会を成功させるという目標を達成するための具体策について話し合うことによって、学級の和を深めようとする目的意識を高め、今後の練習に意欲をもって取り組むことをねらいとしている。

本校では、学級の和を深めるねらいで7月に球技大会を行う。1年では男女混合チームで競技することで、だれとでも分け隔てなく接する態度を養う。2、3年では発達段階も考慮して男女別チームで競技するが、協力して練習し応援し合うことで、互いに高め合う関係を築いていくことが可能であると考えた。本学級の生徒は明るく活発である。休み時間や昼食の時間に互いに友情の輪を広げようと積極的に話しかけたり、一日遠足や設営コンクールに協力して取り組んだりする姿が見られた。現在、球技大会に向けての取組がはじまり、昼休みや放課後での練習を通して、チームへの所属感やそれぞれの責任感、そして学級全体での連帯感を感じてきている。しかし、周りの雰囲気によって活動に意欲的に取り組むことができなかつたり、周りに遠慮して集団の中で自分の力を発揮することができなかつたりする姿が見られることもあった。

そこで、今回の取組を通して、自他理解を深めさせ、互いの意見を尊重し協力し合いながら学級の集団としての質を向上させていこうとする態度を育てたいと考え、本テーマを設定した。

#### 4 テーマにおける指導目標

- (1) だれでも自分の考えを自由に言い合える雰囲気をつくろうとする態度を養う。
- (2) 相手の思いや考えに共感し、理解しようとする態度を養う。
- (3) 自分の思いや考えを表現し、相手に伝える能力を身に付けさせる。

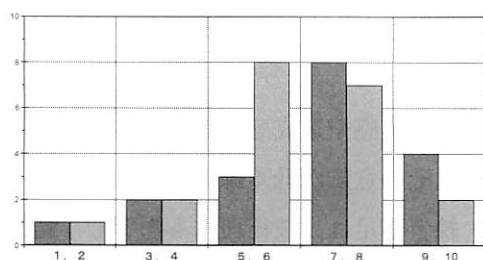
#### 5 テーマにおける指導計画（全4時間）

ユニット	区分	ねらい及び主な生徒の活動	指導上の留意点
友 愛 （ 球 技 大 会 ）	道徳 1	<p>&lt;主題&gt; 信頼・友情 &lt;指導項目・ねらい&gt; 2(3) 心を許しあえる友達をもつことのすばらしさに気付かせ、尊敬と信頼に支えられた友情をはぐくもうとする態度を育てる。 &lt;資料名&gt; 「友達」 &lt;あらすじ&gt; 球技大会に向けて、真希は体育委員として、優勝を目指して昼休みや放課後の練習を指揮する。しかし、クラスの雰囲気は真希に対してよそよそしくなり、親友の由香も視線を合わせなくなる。ある日、由香がみんなの前で「厳しすぎる」と、真希に忠告する。なぜ自分が責められるのか、どうして自分のことを分かってくれないのかと、真希は悔し涙を流す。放課後の帰り道、真希に由香はみんなが我慢してきたこと、さやかがサーブの練習をしていたことなどを話す。真希は、由香の友情に気付かされる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒一人一人がどのような人間関係を築いているのかを振り返らせるとともに、友達がどのような考えや思いをもっているのかアンケート結果などから考えさせる。</li> <li>・ グループや学級全体で本音を語らせたり、意見を交換させたりすることによって、友達の内面的なよさに目を向けさせる。</li> <li>・ 人間関係に問題が生じてても、互いの性格を尊重することによってより一層深く強い友情が構築されることになることに気付かせる。</li> </ul>
	学活 1 (本時)	<p>&lt;テーマ&gt; 球技大会を成功させよう① &lt;ねらい&gt; 学級運営委員を中心に、球技大会を成功させるための具体策を考えさせることによって、今後の取組への意欲を高めさせる。 &lt;主な生徒の活動&gt; ・ これまでの取組を振り返り、球技大会までに解決すべき課題を出し合う。 ・ ロールプレイの方法を用いて、課題について深く考えさせ、学級での共通した具体策を決定する。 ・ 球技大会における学級の具体策を確認することによって、練習への意欲を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの取組における学級の課題を解決し、より向上させようという意識を高めさせる。</li> <li>・ 課題を基にロールプレイさせることによって、話し合い活動を活性化させ、課題を解決するための具体策について深く考えさせる。</li> <li>・ 球技大会を成功させるための具体策を決定し共通理解を図ることによって、今後の練習への意欲を高めさせる。</li> </ul>
	学活 2	<p>&lt;テーマ&gt; 球技大会を成功させよう② &lt;ねらい&gt; 学級運営委員を中心に、球技大会の練習における課題を焦点化し、作戦を練り直させ、練習に取り組ませることで、今後の練習の充実を図る。 &lt;主な生徒の活動&gt; ・ 学級運営委員を中心に、スケーリングの方法を用いて、これまでの練習を振り返り、学級の課題を焦点化する。 ・ 出てきた課題を基に、チームごとに分かれて作戦を練り直し、練習に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営委員とチームリーダーに、練習における課題を基に、練習計画を作成させる。</li> <li>・ チームリーダーを中心に、これまでの練習の取組を反省させ、作戦や練習内容を練り直させ、今後の方向性をもたせる。</li> <li>・ 目標とする自分や学級の姿を意識させ練習に取り組ませる。</li> </ul>
	学校行事	<h3>球 技 大 会</h3>	
	学活 3	<p>&lt;テーマ&gt; 球技大会への取組を振り返ろう &lt;ねらい&gt; 今回の球技大会への取組を振り返らせることによって、自分たちや学級全体の成長を実感させ、学級への所属感や連帯感を深めさせる。 &lt;主な生徒の活動&gt; ・ スケーリングの方法を用いて、活動前の目標やその後の取組状況から、自分や集団の変容を深く見つめることで、自分の学級への所属感や連帯感の高まりを実感する。 ・ 視点を基にこれまでの取組を振り返り、文章でまとめることで、学級の和をさらに深めようとする意欲を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スケーリングの方法を用いて、これまでの取組における自分や集団の変容を深く見つめさせる。</li> <li>・ 自分の目標としていた姿を振り返り、その姿に近づくことができたかどうかをグループ内で相互評価させる。</li> <li>・ 視点を基にこれまでの取組を振り返らせ、文章でまとめさせることで、学級の和をさらに深めようとする意欲を高めさせる。</li> </ul>

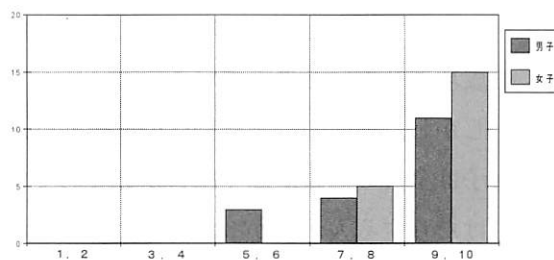
## 6 生徒の実態

【事前アンケートの結果】（H21.5.8 実施 対象：2年2組 38人）

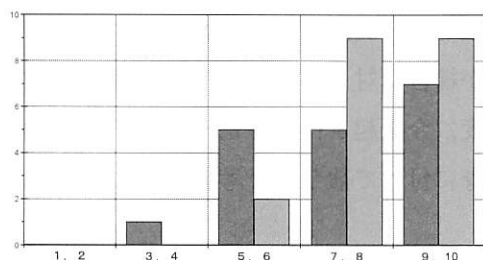
(1) 「自分はバレーボールが好きだ」



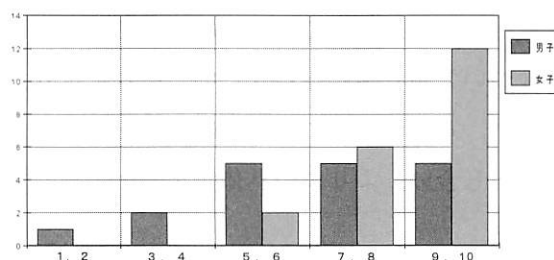
(2) 「自分は球技大会を成功させたい」



(3) 「自分は長縄跳びが楽しかった」



(4) 「長縄跳びで学級の和が深まったと思う」



【※ (1)～(4)は、最もよい状態を10として1～10で回答】

(5) 自分のよかった点

- ・ 一生懸命跳んだ
- ・ 毎日練習に参加した
- ・ しっかり声が出た
- ・ 楽しめた
- ・ みんなと協力した
- ・ できるだけ高く跳んだ
- ・ 女子の時も応援できた

(6) 自分の課題

- ・ 失敗した人を責めた
- ・ ひっかかってしまった
- ・ 息が合わなかった
- ・ ふざけてしまった
- ・ 練習に参加しなかった
- ・ すぐあきらめてしまった
- ・ しっかり跳べなかった
- ・ 練習量不足だった
- ・ 呼びかけ不足だった
- ・ 技術不足だった
- ・ 声が足りなかった
- ・ 自分の役割を果たさなかった
- ・ 自己中心的な言動で相手を思いやっていた

(7) 学級の取組でのよかった点

- ・ あきらめずに取り組んだ
- ・ 積極的に練習する人がいた
- ・ 楽しい雰囲気ができた
- ・ 応援で盛り上がった
- ・ 目標に向かって頑張っていた
- ・ 男女仲良く練習できた
- ・ 円陣を組むなど団結していた

(8) 学級の取組での課題（複数回答）

- ・ もっと団結してみんなで練習し本番で力を発揮すること…22
- ・ 責めたり、やじったりする人がいた…10
- ・ まじめに練習しなかった…6
- ・ 全員の意識、やる気が足りなかった…6
- ・ 一人一人の技術が足りなかった…6
- ・ 声かけが足りなかった…5
- ・ 呼びかけ不足だった…2

## 【考察】～

本学級の生徒は、全体的に明るく、行事や学級活動にも積極的に取り組む生徒が多い。バレーボールに対しては好き嫌いに個人差があるが、球技大会に対する意識も高い。みんなで楽しく取り組む学級の和を深めたい、長縄飛びでは最下位だったので優勝したいなど、ほとんどの生徒が球技大会を成功させたいと考えている。

しかし、前回の長縄跳びへの取組では、男子と女子で充実感や達成感に差が見られた。これは、女子は全員の意識が高く練習が充実していたが、男子はその意識が低く練習に参加しなかつたりふざけたりする人が多かったためと考えられる。また、練習不足は、技術面にも影響し、結果的に跳んだ回数が少なくなってしまった。また、人を責めたり冷やかしたりする人がいたことで、練習への意欲が低下する生徒が見られ、学級全体の雰囲気にも影響を与えたと考えられる。

そこで、本時では、学級全体で最も顕著な課題を題材に、実際の場面を想起させながら具体策について深く話し合わせたい。それにより、一人一人が練習に対して積極的に取り組もうとする意欲や、互いに思いやり、学級の和を深めようとする態度、今後起き得る課題に対しても全員が意見を出し合い、よりよい具体策を考えようとする態度を身に付けて欲しいと考えた。

## 7 本時の実際

### (1) 本時の目標

- ア 予想される課題に対する具体策を学級全体で深く考えさせることによって、集団の目標達成のために、自己や集団を向上させようとする意欲を育てる。
- イ 予想される課題を多面的な視点からとらえさせ、互いの立場や心情を考慮しながら建設的な具体策をつくり上げることによって、相手の気持ちを思いやり意見を尊重する姿勢を身に付けさせる。

### (2) 研究内容との関連

- ア 学校行事を核に、学級活動と道徳との関連を図った指導計画の作成（新附属ユニットプラン）  
〔特別活動論文 III-3-(1)〕  
球技大会への取組は、1st「互いを理解し合い、望ましい人間関係の基礎をつくる段階」であるユニット「友愛」の終末に当たるため、一人一人が自他理解に努め、互いに協力し合って球技大会を成功させることによって、望ましい人間関係の基礎づくりを終え、互いに高め合い自己を磨く段階へと進むことができるようにする。球技大会への取組は学級活動3時間、道徳1時間で計画し、学級活動は事前に2時間、事後に1時間を行う。本時は学級活動の1時間目に当たり、球技大会の学級での目標を達成するための具体策について話し合うことによって、全員の目的意識を高め、今後の練習に意欲をもって取り組むことができるようにした。
- イ 自他の比較や重ね合わせにより、自己理解を深める工夫〔特別活動論文 III-1-(1)〕  
自己と他者を比較したり、自分自身を他者に重ね合わせたりすることによって、自己に対する正しい認識をもつことができる。そこで、話し合い活動では、ロールプレイの方法を用い、架空の他者をモデルとして話し合い活動を進めることにした。架空の他者への理解を深め、自分自身と比較したり重ね合わせたりすることによって自己を見つめさせたい。

ウ 自己や集団の取組を振り返らせる工夫〔特別活動論文 III-1-(2)〕

授業の終末において、これまでの自己の取組を振り返らせる活動を充実させるために、昨年度の自己や集団の活動の様子はどうか、授業を通して気付いたことや考えたことは何だったかなどの、視点を明確にもたせてまとめさせることによって、今後の活動に自分がどのように取り組みたいかを深く考えさせるようにした。

エ 話し合い活動を活性化させるための工夫〔特別活動論文 III-2-(1)〕

学級活動のテーマが「議題」であるときは、生徒を中心に企画・運営を行う「学級会活動」を効果的に取り入れていくことが大切である。生徒が話し合いを自分たちで進めていくことによって話し合い活動の活性化につながる。本テーマは、球技大会の練習を充実させるために、学級の問題点を解決方法を考えるものなので、「学級会活動」を取り入れ、学級運営委員を中心に進めることにした。

また、話し合い活動を活性化させるためには、集団全員が自分の意見を明確にもち、互いの意見を述べやすい方法を積極的に取り入れることが大切である。そこで、ロールプレイの方法を用いて話し合い活動を進めることによって、生徒が自分と他者を比較したり、重ね合わせを行ったりすることで、多様な意見をもつことができ、話し合い活動で意見交換が活発に行われるようにした。

オ リーダーシップやフォロアーシップを培うために効果的な集団編成の工夫〔特別活動論文 III-2-(2)〕

集団で話し合い活動をするときは、リーダーがいることが望ましく、さらに集団の全員がリーダーとフォロアーの役割を自覚しながら活動を行うことが大切である。そこで、話し合いの班を5人ずつの8班に編成した。また、リーダーである学級運営委員が各班に入り、話し合い活動を進めていくことによって活動内容が充実するようにした。

(3) 事前の活動とその指導

日時	〈活動の場〉 活動の主体	活 動 の 内 容	指導・援助の留意点
5/7(木)	〈昼休み・放課後〉 学級運営委員	・ アンケート作成	・ 昨年度の球技大会や今の学級の様子について話し合い、6月5日の学級活動の授業に向けてのアンケートを作成させる。
5/8(金)	〈放課後〉 学級運営委員	・ アンケートの実施とその分析	・ 学級で予想される課題について分析させ、5日の学級活動の方向性について考えさせる。
5/12(火)	〈放課後〉 学級運営委員 チームリーダー	・ 5日の学級活動の進め方についての打合せ	・ 学級活動の内容と話し合い活動の進め方についての見通しをもたせる。
5/26(火)	〈放課後〉 学級運営委員 チームリーダー	・ 役割分担と係の仕事内容についての打ち合わせ	・ 5日の学級活動に向けて、それぞれの役割と大まかな動きの確認をする。
6/2(火)	〈放課後〉 学級運営委員	・ 活動内容と進め方の確認と準備	・ 学級活動の内容と話し合い活動の進め方についての見通しをもたせる。
6/3(水)	〈放課後〉 学級運営委員	・ 活動内容と進め方の確認と準備	・ よりよい活動になるよう留意点の確認や資料の準備をさせる。

(4) 本時の展開

過程	活動の内容	時間	形態	教師の指導・援助	準備・資料
導 入	1 本時の活動テーマを確認する。 (教師) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">球技大会を成功させよう</div>	2	一斉	○ 球技大会に向けての目標とチームを確認させる。また、前時の道徳で学習した信頼・友情について思い出させる。これまでの取組でうまくいかなかったことはないか問いかけ、問題意識をもたせる。	OHP アンケート結果
	2 アンケートの結果から、学級の課題を発表する。(司会者) <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・ ミスをすると言われる。 ・ バレーが苦手である。 ・ みんなでそろって練習ができなかった。</div>	4	一斉	○ アンケートの結果を事前に学級運営委員に分析させ、学級の課題を明確にしたものを準備しておく。司会者に発表させ、生徒に課題を把握させる。	
	3 今日の学級会活動の議題を確認する。(司会者) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学級目標を達成するにはどのようにして課題を解決すればよいだろうか。</div>	2	一斉	○ 司会者に、練習を充実させるために予想される課題について考えていくことを確認させ、それが個人のことはかりではなく、全員で取り組み解決しなければならないものであることを学級全体に意識させる。	
展 開	4 議題について、どのような方法で解決すればよいか考える。(司会者) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2年2組は明るく、行事にも一生懸命に取り組む学級である。球技大会まであと1ヶ月、練習も本格的になり、今日も放課後にバレーの練習をすることになった。 しかし、帰りの会が終わり、みんなが校庭に向かう中、生徒Aが帰ろうとしていた。生徒Aはここ数日間、練習にも参加していない。生徒Bは生徒Aが練習に参加するような解決方法をとる。</div>	5	個	○ 生徒Aという架空の人物について考えさせることによって、集団の雰囲気壊すことなく、意見を出しやすくさせる。 また、状況設定をアンケートの現状に合わせることによって、生徒Aという架空の人物像を生徒の実態に即したものにし、実際の場面で生かすようにさせる。 ○ 考えたはたらきかけをワークシートに書かせ、話し合い活動で自分の意見が言えるようにさせる。	ワークシート
	5 自分の考えたはたらきかけで問題を解決する場面を演じ、吟味することで、よりよい具体策について考える。(班長) <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">・ 人を責めたり、冷やかしたりしない。 ・ 練習の呼び掛けをしたり、励ましの声掛けをしたりする。 ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; text-align: center;">&lt;ロールプレイ&gt; ↓ ↑ &lt;シェアリング&gt;</div> A：苦手な人は、技術が向上しないと意欲が高まらない。 B：具体的に練習計画がないと参加者は増えない。 ↓ &lt;話し合いによる方法の決定&gt; ・ みんなが参加できる日時を聞き、練習計画を立てる。 ・ 練習中の声掛けと応援を徹底する。 ・ 苦手な人のためにサーブやレシーブなどのコースを設定して練習をする。</div>	16	班	○ 5人グループで話し合わせる。話し合い活動が充実するように、学級運営委員をリーダーにして話し合い活動を進めさせる。 ○ まず、リーダーを中心に順番を決めさせ、それぞれの方法を2回ずつロールプレイさせる。ロールプレイのときは全員が立ち、観察者は本当にそれでいいのかという立場で演技を観察させる。 ○ 一つのロールプレイが終わったら着席させてシェアリングを行わせる。それぞれの立場で感じたことや考えたことを出させ、よりよい解決方法はないか生徒に深く考えさせ、話し合い活動を活性化させる。 ○ 話し合い活動がうまくいっていない班に入り、助言を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">特別活動論文 III-1-(1) 自他の比較や重ね合わせにより、自己理解を深める工夫 ア 他者をモデルとし、自己と他者を比較したり、重ね合わせたりすることによって、自己を深く理解する活動 特別活動論文 III-2-(1) 話し合い活動を活性化させるための工夫 イ 活発な話し合いを促す方法の導入</div>	カード 画用紙

展 開	6 班ごとに考えた具体策を画用紙を使って発表する。(司会者)	5	一斉	○ 具体策とそうように考えた理由を発表させ、互いの意見を確認させる。
	7 出てきた具体策について全体で意見を交換する。(司会者)	10	一斉	○ 八つの具体策が学級目標を達成するために適したものかを全体で検討させる。
終 末	8 視点を基に、今日の授業を受けて、今後の活動にどのように取り組んでいきたいと思ったかをまとめる。(教師) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの自分や集団の取組状況はどうだったか。</li> <li>・ 授業を通して、気付いたことや考えたことは何だったか。</li> <li>・ これからの活動にどのように取り組みたいか。</li> </ul> </div>	6	一斉	○ 数名に発表させ賞賛することによって、今日の具体策を実践しようとする意欲を高めさせるとともに、他の問題点についても本時のようにみんなで意見を出し合い、解決していけばよいことを知らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>特別活動論文 Ⅲ－１－(2)</p> <p>自己や集団の取組を振り返らせる工夫</p> <p>ア 自己の取組を振り返らせる活動</p> </div>

#### (5) 事後の活動とその指導

日 時	〈活動の場〉 活動の主体	活 動 の 内 容	指導・援助の留意点
6/22(月)	〈放課後〉 学級運営委員 チームリーダー	・ 練習がより充実してきたか確認し、次回の学級活動に向けての打ち合わせを行う。	・ これまでの練習の様子を振り返らせ、課題があれば改善策を考えさせる。

#### (6) 評価

ア 予想される課題に対する具体策を学級全体で深く考え、集団の目標達成のために、自己や集団を向上させようとする意欲をもつことができたか。

イ 予想される課題を多面的な視点からとらえ、互いの立場や心情を考慮しながら建設的な具体策をつくり上げることによって、相手の気持ちを思いやり、意見を尊重しようとすることができたか。